

10年間の改修工事を前にハレの日を再現

千葉家まつり

国の重要文化財千葉家住宅(以下、千葉家)の保存修理工事の本格化を前に、地域住民が企画した「千葉家まつり」(同実行委員会主催)は11月2・3の両日、同所で開かれました。

映画「遠野物語」の観賞会、昔ながらの花嫁行列や結婚式の再現、氷口御祝や綾織しし踊りなどの郷土芸能の披露などが行われ、訪れた地域住民や観光客、カメラ愛好家ら1,000人は、千葉家の改修前の最後の姿を目に焼き付けました。

千葉家の保存修理工事は、来年4月から平成36年度まで行われる予定で、その期間は非公開となります。



花嫁行列

当時の花嫁衣裳を身にまとい、約1kmの道を練り歩く花嫁。沿道には多くの観光客であふれました

▶昔ながらの結婚式
千葉家住宅で、昆和寿さん(36)＝綾織町出身＝と勝子さん(31)＝青笹町出身＝夫妻の結婚式が行われました



郷土芸能披露

氷口御祝(小友町)が、祝い事に歌われる「御祝」を披露し、昆夫妻を祝福

■予告 広報1月号では「特集:千葉家」を予定しています



11月15日 ふれあいホーム上郷で誕生会

青笹町の菊池ミサさん100歳

菊池ミサさんの誕生会が同所で行われました。本都市長が記念品と花束を贈呈すると、ミサさんは「ありがとうございます」と感謝しました。ミサさんは、大正4年に青笹町で生まれ、18歳で梅太郎さん(故人)と結婚。農業に励みながら、2男4女を育て上げました。現在は、3人の玄孫に囲まれ元気に過ごしています。



本都市長からの祝福に喜ぶミサさん

11月15日 遠野少年少女合唱隊第26回発表会

美しい歌声が会場に響き渡る

同発表会があえりあ遠野中ホールで開催され、5歳から中学生までの17人の隊員が童謡やわらべうた、アニメソングなど30曲を発表。訪れた100人は、その澄み切った美しい歌声とハーモニオンを堪能しました。また、ダンスを交えた発表も行われ、隊員らの元気な歌声に、会場からは大きな拍手が送られました。



美しい歌声を披露する隊員

11月22日 市民センターバレエスタジオ第38回発表会

みやもりホールで華麗な舞を披露

5歳から高校生までの36人の生徒による発表会が、みやもりホールで行われました。今年、市民センターが改修工事のため、同ホールで初開催。発表は2部構成で行われ、生徒たちは、日頃の練習の成果を堂々と披露しました。

訪れた人たちは、生徒たちの優雅で、華麗な踊りに酔いしれました。



華やかな衣装を身にまとい、息の合った踊りを披露

11月16日 遠野中継センター開所!

もえるごみの中継拠点がついに稼動

もえるごみの中間処理施設「遠野中継センター」がいよいよ稼動開始しました。綾織町の同センターで行われた開所式には、関係者や地域住民ら50人が参加し、新たなごみ処理の拠点に期待を寄せました。同施設は、本市、花巻市、北上市、西和賀町の4市町で構成される岩手中部広域行政組合が建設。

施設は鉄骨造りで、延べ床

面積は990平方メートル、総事業費は約6億円です。

①ここが変わります

『もえるごみ』の直接搬入場所が中継センターに変わります。お間違えのないようご注意ください。

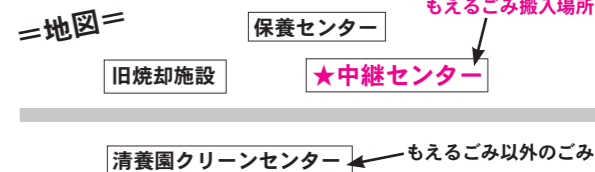
②もえるごみの減量を!

環境負荷低減と経費削減のため、引き続きごみの減量にご協力ください。

※詳細は本誌7月号で紹介しています



もえるごみを大型バッカー車で、岩手中部クリーンセンター(北上市和賀町)に運びます



11月13日 地域おこし協力隊着任

2人目の隊員に山田泰平さん

都会出身の若者が、地方に移住して地域おこしに取り組む「地域おこし協力隊」として、神奈川県出身の山田泰平さん(24)が着任しました。山田さんは、神奈川大学出身で、東日本大震災時には、本市を拠点に震災ボランティアとして活躍。現在は、上郷町の遠野グローバルプラザを拠点に活動しています。



本都市長に意気込みを語る山田さん

11月6日 被爆体験を描いた紙芝居を市に寄付

戦争の無い平和な世の中に

画家・後藤正伍さん(82)＝早瀬町＝は、伊藤宣夫さん(87)＝同町＝の被爆体験を基に描き、自費制作した紙芝居「広島証言 再び戦争をさせない」(20部、約30万円相当)を、市内の学校などに寄付しました。後藤さんは「教育に活用し、戦争の悲惨さと平和の尊さを、後世に伝えてもらいたい」と思いを語りました。



平和を祈る後藤さん(右)と伊藤さん

防災資機材と消防車両を設置

有事に備え充実強化

市は11月、松崎町全行政区に、自治総合センターの宝くじ助成事業を活用し、発電機、キャスター、防災用かまどセット、コードリールを整備しました。また、電源立地地域対策交付金を活用し、市消防団10分団5部(宮守町達管部)に小型動力ポンプ付積載車1台、4分団5部(荒屋分

所(附馬牛町)と6分団2部(飯豊分所(土淵細))に小型動力ポンプ付軽積載車を1台ずつ更新しました。消防団車両の設置式は11月20日、市総合防災センターで行われ、消防団関係者ら60人が出席。松田克之消防団長は「より一層訓練に励み、消防力強化を図りたい」と決意を新たにしました。



宝くじ助成事業を活用して整備した防災資機材



電源立地地域対策交付金を活用して整備した消防団車両

